



透湿弾性タイル・RE (国土交通省仕様 JIS A 6021対応)

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
透湿弾性タイル・REベース
NSK - 0306318
透湿弾性タイル・RE模様
NSK - 0306319

JIS A 6021
建築用塗膜防水材料外壁用
アクリルゴム系2成分形
(透湿弾性タイル・REベースに適用)

JIS A 6909仕様につきましては、別途パンフレットをご確認ください。

「透湿弾性タイル・RE」は、透湿性能を付与した2液形防水形複層塗材です。
JIS A 6021建築用塗膜防水材料、JIS A 6909防水形複層塗材REを
取得しています。

特長

01 高弾性

高弾性により、低温時でも十分な伸び性能を発揮します。

02 優れた透湿性

透湿性能に優れており、膨れ・剥離を抑制します。

03 2液形

主材と硬化剤の反応により強靱な塗膜を形成します。

04 優れた性能

中性化抑止や塩害・凍害防止の効果に優れています。

用途

既存の仕上塗材塗り仕上げ等を改修する場合及びコンクリート打放し仕上げ外壁、
モルタル塗り仕上げ外壁等に外壁用塗膜防水材料塗りを行う場合に適用する。

適用下地

コンクリート・セメントモルタル 等
※下地材により下地調整処理が必要になります。

●公共建築改修工事標準仕様（令和4年度版）

ゆず肌状模様の場合

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(h) (23°C 50%RH)	所要量(kg/m ²)
下塗り	キクスイ浸透性プライマーE 主材: 15kg 無希釈	エアレススプレー ウールローラー 等	1	3以上	0.1以上
下地挙動緩衝材(注1)	K S下地挙動緩衝材 主材: 4kg 無希釈	へら、はけ 等	1	1以上	0.5以上
増塗材	透湿弾性タイル・REベース 主材: 18kg 硬化剤: 0.15kg 清 水: 0.3~1.0L	はけ 等	1	3以上	0.5~1.0
アクリルゴム系 塗膜防水材料	透湿弾性タイル・REベース 主材: 18kg 硬化剤: 0.15kg 清 水: 0.1~0.4L	多孔質ローラー	2	18以上 工程内3以上	2.25以上
外壁用仕上塗料	透湿弾性シリコントップ 主材: 16kg 清 水: 0.8~1.6L	エアレススプレー ウールローラー等	2	工程内2以上	0.25以上

凹凸状・凸部処理状模様の場合

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(h) (23°C 50%RH)	所要量(kg/m ²)
プライマー	キクスイ浸透性プライマーE 主材: 15kg 無希釈	エアレススプレー ウールローラー 等	1	3以上	0.1以上
下地挙動緩衝材(注1)	K S下地挙動緩衝材 主材: 4kg 無希釈	へら、はけ 等	1	1以上	0.5以上
増塗材	透湿弾性タイル・REベース 主材: 18kg 硬化剤: 0.15kg 清 水: 0.3~1.0L	はけ 等	1	3以上	0.5~1.0
アクリルゴム系 塗膜防水材料	透湿弾性タイル・REベース 主材: 18kg 硬化剤: 0.15kg 清 水: 0.3~1.0L	リシンガン 口径: 5~6mm 吹圧: 0.5~0.6MPa	2 (注2)	18以上 工程内3以上	1.9以上
模様材	透湿弾性タイル・RE模様 主材: 18kg 硬化剤: 0.15kg 清 水: 0.1~0.4L	タイルガン 口径: 6~8mm 吹圧: 0.2~0.3MPa	1	18以上 凸部処理1以内(注3)	0.7以上
凸部処理(注3)	プラスチックローラーに塗料用シンナーをつけて均一に押える。			—	—
外壁用仕上塗料	透湿弾性シリコントップ 主材: 16kg 清 水: 0.8~1.6L	エアレススプレー ウールローラー 等	2	工程内2以上	0.25以上

(注)1.下地挙動緩衝材の適用は特記によります。幅0.2mm以上2.0mm未満のひび割れ部及びひび割れ部の延長上50mm以上に、50mm程度の幅で塗膜厚0.25mmに相当する所要量以上を端部に段差のないようにはけにより塗り付けてください。ひび割れ幅が0.5mmを超える場合は、プライマー施工に先立ち「カチオンRF」等下地調整塗材C-1適合品をすり込んでください。

(注)2.塗り回数は、製造所の指定に準じる事が規則です。

(注)3.凸部処理は、凸部処理状模様の場合のみに行う。



透湿弾性タイル・R E

(国土交通省仕様 JIS A 6021対応)

荷 姿

透湿弾性タイル・R E ベース	主材	NET 18 kg / 缶入	硬化剤	NET 0.15 kg / 缶入
透湿弾性タイル・R E 模様	主材	NET 18 kg / 缶入	硬化剤	NET 0.15 kg / 缶入
キクスイ 浸透性プライマー E	NET	15 kg / 缶入		
K S 下地挙動緩衝材	NET	4 kg / 缶入		
透湿弾性シリコントップ	NET	16 kg / 缶入		

公共建築改修工事標準仕様書

7 節 外壁用塗膜防水材料による改修

4. 7. 6 工法

- (3) **下地挙動緩衝材**を用いる場合は、幅0.2 mm 以上2.0mm 未満のひび割れ部及びひび割れ部の延長上50mm 以上に、50mm 程度の幅で塗膜厚0.25mmに相当する所要量以上を端部に段差のないようにはけにより塗り付ける。
なお、ひび割れが0.5mm以上の場合は、あらかじめひび割れ部に下地調整塗材C-1をすり込む。
- (4) **増塗り**は、はけにより、防水材料塗りに先立ち、あらかじめ0.5~1.0kg/m²を端部に段差のないように塗り付ける。
なお、増塗りを行う部位は、プレキャストコンクリート、ALC パネル等の継手目地、建具回り、貫通部回り等の防水上重要な部位、出隅、入隅、目地部等の膜厚が薄くなりやすい部位、開口部回り等のひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位等とする。

公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)より一部抜粋



注意点

施工上の注意事項及び安全衛生上の注意事項をご確認の上、施工ください。
各製品ごとの注意事項については、ダウンロードサイトよりご確認ください。

kikusui ダウンロードサイト

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書をご確認ください。



菊水化学工業株式会社 本社
☎ 052-300-2222(代)

ホームページ ▶ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台 ☎ 022-706-5710 大阪 ☎ 06-7668-5320
東京 ☎ 03-3981-2500 福岡 ☎ 092-433-6262
名古屋 ☎ 0568-69-5200